

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2025

6

第39巻6号
(通巻454号)



峡西病院の理念

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

第8回日本うつ病 リワーク協会年次大会

長野大会 参加報告

4月26・27日に長野県松本市で開催された、第8回日本うつ病リワーク協会年次大会に参加しました。峡西病院からは、院長の川崎がランチョンセミナー講師として、心理グループの成田がシンポジストとして、それぞれ参加しました。

リワークとは、return to workの略語であり、気分障害などの精神疾患を原因として休職している労働者に対して実施する、職場復帰に向けたリハビリテーションを指します（一般社団法人日本うつ病リワーク協会ホームページより）。勤めている企業等を現に休職している方が対象です。リワークは、職場復帰はもちろんのこと、職場復帰後も心身ともに健康的に働き続けること（＝再休職予防）を目的に実施されます。最近では特に、医療機関が実施するリワークを「医療リワーク」と呼称する場合があります。

今回の年次大会のテーマは「地方都市における持続可能な医療リワーク」。座長の先生からお声をかけていただき、「コメディカルからみた地方都市における持続可能な医療リワーク」というテーマのシンポジウムに、シンポジストとして参



リハビリテーション部
心理グループ 成田

加しました。当院が所在する南アルプス市が、地方「都市」と呼べるかどうかは定かではありませんが、リワークを実施する環境としては、決して恵まれているわけではありません。全国に散らばる医療リワークを実施している機関が集まり、地方都市という環境の中で、どのようにすれば質の高い支援を提供できるかについて、意見を交わしました。

当院では、リワークに特化したプログラムを開始して5年ほどが経過しました。これまでに実施した支援や取り組みをまとめ、他機関のスタッフと意見交換をすることで、私たち自身の支援について振り返りを行うことができました。今回の振り返りで得た気づきを、これからの支援の質向上に繋げていき「その人らしさをともに創造する」ことを実現したいと考えています。

地域における認知症の講演会

令和7年4月26日、山梨県立文学館において、あしたばの会山梨県支部主催認知症の人と家族の会へ招待いただき『地域における認知症診療の実践』医療機関受診から精神科入院まで』という題目で、南部医療センター所長市川万邦先生を座長に、看護師の河西と石川が講演の依頼を承りました。

令和7年4月26日、山梨県立文学館において、あしたばの会山梨県支部主催認知症の人と家族の会へ招待いただき『地域における認知症診療の実践』医療機関受診から精神科入院まで』という題目で、南部医療センター所長市川万邦先生を座長に、看護師の河西と石川が講演の依頼を承りました。

第一部では、市川先生が医師人生のほとんどを僻地医療や在宅医療、地域医療に邁進され寄り添い続けてこられた話題や、山梨県の高齢化への取り組み、山梨県と南部町で行われている認知症治療について講演されました。

第二部では、私がこれまで外来と地域連携室で学んだ認知症への小さな気付きや早期受診のメリット、地域における相談窓口についての紹介し、実際に当院へ寄せられる相談内容や受診までの流れ、入院判断の見極めなどを案内しまし

た。そして、リスタート病棟河西リーダーが認知症病棟の特徴や対象者、入院生活を案内しました。

会には、今まさに認知症介護をされている方や過去に経験された方、地域の支援者や福祉関係者、学生や医療従事者など20代から80代の幅広い世代の男女が多く集まりました。聴講された方々は何度も首を縦に振り相槌をされる方々や質問してくださる方々など、とても意欲的で和やかな雰囲気でした。

地域で生活されている方々と顔を見ながらお話をする経験をいただき、今まさに介護に奮闘されている方が悩みを吐露できる場を提供することや、地域の皆さんが認知症専門病院に関心を寄せてもらえるような働きかけをするなど、峡西病院が地域に歩み寄る取り組みがたくさんあると感じました。

アスピール病棟 石川 純子

令和5年度 目標管理発表会



ブリエ病棟の課題

- ① クレル病棟からの移棟患者さんの受け入れ
- ② クレル病棟への患者さん移棟
- ③ B1フロアー開放化

方法・実施

①について

リーダーより患者さんへ説明を実施、疑問点などその場で説明をした。ブリエ病棟内ベットコントロールについては主治医と相談しながら調整を実施。人物誤認を防ぐため患者さんからの同意が得られた方のみ顔写真を撮影、配薬車へ保管した。

②について

患者さん、家族へ主治医から説明し、同意を得てから実施。

③について

当初はブリエ病棟とクレル病棟での摺り合わせのみで移棟を行う予定であったがB1フロアーの開放も同時に行っていくなど局地的に行うよりも多職種を交えての定期的な話し合いが必要と判断しプロジェクト達成に必須であると感じた為。

まとめ

今回大きな問題もなく病棟転換が行えた背景にはスタッフが病棟転換を病院全体のプロジェクトであると理解し、病棟単位ではなく病院全体で取り組む出来事と認識して遂行、行動できたことが大きいと考える。

*** **

目標 クレル病棟（C病棟）

認知治療病棟への病床転換が安心かつ安全に行える。

目標設定の理由

病床転換に向けたブリエ病棟への移棟について、職員、患者に伝達することにより、お互いに安心して行えるようにしたかった為である。

結果

今回の病棟変換に伴うブリエ病棟への移棟の際、患者さんには早めに伝達を行い、安心感を与える必要があった。

職員も同様に伝達後の患者さんのフォローをするうえで病棟変換する理由を理解する事が必要。職員には病棟変換プロジェクト会議の内容を

伝え、患者には全体説明を10月、12月に行いウィークリーチェックを開始した。

移棟の説明は主治医から説明し、受け持ち看護師からも伝えていった。プロジェクト委員会で作成した用紙を用いて説明した。

伝達後は患者自身荷物をまとめたり、ブリエ病棟に見学に行く姿もみられ、それが安心感につながったのではないかと思われる。移棟に反応して精神状態が不安定になる方もなかった。

移棟は11月から始まり、2月までに14名の患者さんがブリエ病棟に移棟した。

移棟後精神状態が不安定になった患者が数人いた。

まとめ

事故なく移棟がスムーズに行えたのは、多職種の協力があったからだと思う。

患者さんは環境の変化に弱いと思っていたが、意外と大丈夫な事に驚かされた。やはり早め早めの伝達がとても重要だと感じた。

OT・PT だより

5月15日（木）

に芝生広場にて、
「てっぱんイベン

ト 焼きそば＆
ぎょうざ」を行い

ました。天氣に恵まれ、テントの下

でスタッフがてつ

ぱんで調理をしている様子を見た

さん話をし出して出来上がるのを待って

いました。ぎょうざはホットプレー

トで焼きました。

麦茶と一緒に出来上がった焼き

「そこらで食べるとまた味が違

うね」などの感想が聞かれました。

食べ終わり「おかわりはないの」と

「スタツ」に聞いてみる方がよい、とおか

くさん食べておな

か一杯になつてい

ました。夕で風を感じながら皆さん

楽しいひと時を過

「ごしてました。」

てっぱん
イベント



リハビリテーション
センターだより



Q これからの目標（夢や希望）が具体的に
なっていませんが利用することはでき
ますか？

A 安心してご利用いただけます。当院リハビリテーションは「その人の暮らしにおける目標の実現その準備」と考えております。これからの生活にお悩みのある方で、何かできないかがないかを相談することも「目標の準備段階」と捉えています。目標を持つこと自体が辛いと考えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。どんな小さな一歩でもその人らしさを大切に、多職種の専門スタッフが相談に応じ、共に悩み、考えながら伴走していきたいと考えております。少しでも気になることがあれば、お気軽にお近くのスタッフまでお伝えいただけることをお待ちしております。

プログラム紹介

生活充実型プログラム
育てるプログラム

【活動曜日】 毎週金曜 午前

【活動内容】

リハビリセンターの畑で野菜や果物を栽培するプログラムです。土を耕し、種や苗を植え、水やりや草取りをする。春夏秋冬、休みなく力を合わせて取り組んでいきます。その成果として立派な作物を収穫でき、美味しく料理して食べるといふ喜びを感じることができます。とてもやりがいのあるプログラムです。最近はやベツを収穫しチヂミを作って味わいました。



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで
気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 **リハビリのご案内**

検索

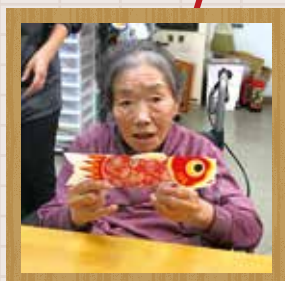
ろうけんTimes

今月の
TOPICS★

屋根より高い鯉のぼり♪DCの鯉のぼりは食べられます(^^)
ゆっくりと丁寧に型取りから始め、可愛くデコレーションしました。
それぞれの鯉のぼりを作成し、皆さんでおいしく頂きました(*^▽^*)

3F
通所
リハビリ2F
認知症
専門棟

認知症専門棟の鯉のぼりは食べられません(^^)
思い思いの個性の光る鯉のぼりを作成しました。今年の鯉のぼりも
元気に空を泳げますね(*^^)v



一般棟の『制作グループ』では、藤の花作りを行ないました。

1F
一般棟

利用者様数名で分担し、
細かい作業を黙々と行
われておりました。完
成品がどのようになる
かを楽しみに待ちたい
と思います(*^・^*)

* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健
の 理 念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、はなこもちさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：嫌われる勇気

(作者：岸見一郎・古賀史健／出版社：ダイヤモンド社)

●本の内容は？

題名がインパクトあり！書店で手にとってみました。

●おすすめのポイントは？

「自分らしく生きること」とはどんなことなのか・・・と考えるきっかけになりました。この本は哲人と青年の対話で話が進んでいきます。他人の目や評価を気にしすぎる人にとって「嫌われることを恐れず自分の人生を生きていい」と背中を押されるような内容でした。印象的だったのは、「課題の分離」についてでした。私自身、日々の生活の中で悩むことが「子供の課題」であることが多いと感じました。「それは誰の課題？」と常に自分に問いかけ見極めることによって、自分の人生をより自由に生きられる気がしました。

老健職員は毎年様々な研修に参加し、資格取得や自己研鑽に努めています。
令和6年度の老健職員の資格取得者、研修終了者は以下の通りです。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ★全国・山梨 介護老人保健施設大会 | 演題発表…… 3名 |
| ★認知症実践者研修… 1名 | 認知症リーダー研修… 1名 |
| ★虐待防止・権利擁護研修会… 5名 | ★認知症チームケア推進研修… 8名 |
| ★キャラバンメイト養成講座… 4名 | ★災害対策基本研修…………… 1名 |
| (他、各種研修会出席多数) | |

令和7年度も引き続き、積極的に学び、技術向上に努めていきます。

患者の権利と責任

あなたには、「その人らしさをともに創造する」の理念の下、治療の主体者として、以下の権利と責任があります。

1. 必要かつ十分な医療サービスを、あなたにふさわしいやり方でいつでも受ける権利
2. 治療の主体者として、医療者と協力して病気を治すことに参加する責任
3. 病名・病状・予後・診療計画・薬の名前や作用・副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利
4. 個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利
5. 自分の患者としての行動に適用される病院の規定・規則を知る権利とそれを守る責任
6. 自分が受けた医療等に関する費用の請求を点検し、説明を受ける権利と、決められた期限までに請求された医療費等を支払う責任
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責任
8. 治療上必要な必要最小限の行動の制限を受けることがありますが、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に定められた、面会・通信の自由、退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利と、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利



今年のお米の価格が高いのに驚きます。近年大きく変動した覚えがなく、昨年のコメ不足が久々の大きな話題のように思えました。ニュースでは備蓄米を放出したとか、今年の作付け状況だとかしきりに話題にしていますが、米価は下がったとはあまり聞きません。

我が家も親父さんが元気なころは田んぼがあり米に困った記憶はありません。小さい時分は何でも手作業で、粃時き、お田植、稲刈り、脱穀も一家総出の作業でした。また近

私の趣味は、いわゆる推し活である。私は小さいころから音楽や踊りが好きだった。自分でやるのも見るのも好きである。中学生の時にはすでに立派なアイドルオタクであった。大人になり仕事や育児に追われる日々。そんな中、息子の影響で今の推しを見つけたのがコロナ禍。あの暗く苦しい三年間を乗り越えられたのは本当に推しのおかげである。今の世の中はともありがたいもので、外国のグループの活動もSNSを通じて追うことができる。ポタンひとつで何度も繰り返し動画を観ることができる。しかも、画質も音質も素晴らしい。またライブ配信や、バラ



エティ・ドキュメンタリー番組など様々のコンテンツを通じて彼らの想いや意思を彼らの言葉で知ることができる。歌って踊る姿だけでなく一人の人としての人間性や人柄を知ることができるのだ。そうすることで曲やパフォーマンス、グループとしてのあり方への理解が深まり、より一層心惹かれていく。推し活とは、いつも自分をご機嫌でいるためになくてはならないものである。一瞬で気分を変えてくれ、常に期待感を抱かせてくれ、感動を与えてくれる。何よりも、楽しみがあるということ。それは幸せなことである。

E

所どうして手伝いっこをしていったもんでした。お田植の時は「おらえの勝也が起きちもうから静かに植えてくださいしょう」とおじいさんが話していたと近所のおばちゃんからよく聞かされました。夏の夜になればカエルの大合唱。三方を水田に囲まれた我が家はもう賑やかなものでした。稲刈りの時は「藁は尊いもんだから長くとるだ」と地面すれすれに鎌を入れると教わったものです。稲をくびつてウシにかけ、ぶっかつた稲をかける時は顔から服まで泥だらけになりました。かわかした稲わらはリヤカーに積んで家に運び脱穀。それからセンゴクに通して袋の目方を合わせて「今年はいく俵とれた」と話していたのを覚えています。それがいつしか機械が入り楽になった分、手伝いっこをするような賑やか

さは少なくなっていました。また年々稲刈りが早まってきたのを記憶しています。温暖化のせいでしょうか、まだ暑い中を稲刈り機回し、へとへとになった時もありました。そんな暑い中でも専業農家の親父さんは二コ二コしながらウシを組み立てていたのをまるで昨日のように覚えています。今では家を囲んでいた水田も無くなりカエルの声も随分と遠のきました。コメは作る物から買う物へ、手間をかけずに手に入る物へ変化しました。何よりこの話に登場していた人物は私と母だけになりました。時代は昭和、平成、令和と移り、途絶えてしまったものを懐かしく思い出します。米価高騰から思い出される、私の家の昔話でした。

老健リハ 矢崎 勝也

こちら編集室

このおあしすがお手元に届く頃は、すでに6月。6月が終わって7月に入ると、早くも1年間の半分が終わったことになります。

今年、2025年1月からを振り返ってみて、早く感じる人、遅く感じる人、様々かなと思いますが、一般的には年を取った人の方が、1年を早く感じやすいとされています。

原因については諸説あるようですが『大人になるほど新しい経験や刺激が減り、単調な日常が続くため、時間が早く過ぎていく』という説や『1年間で人生に占める割合が小さくなっていくため、1年を短く感じる』(たとえば5歳児にとつての1年間は人生の5分の1を占めるが、50歳の大人にとつては、人生の50分の1に過ぎないため、1年を「たった1年か」と、相対的に短く感じる)という説があるそうです。たしかに小学生だった頃の夏休みは異常に長く退屈に感じていたのに、今は夏が過ぎるのもあつという間に感じます。

せっかく日本は四季折々の風物詩があり、季節の行事やイベントもあるわけですから、楽しんで1年を長く感じながら過ごしたいですね。

今月の予定 6月

6日
(院内研修)
リハビリテーション部 集合研修

12日
防災委員会

17日
ケアする病院ネットワーク
(他院様を見学)

今月の一枚



仲良し姉妹
りんちゃん♡のんちゃん

K

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

精神科なかなか重い梅雨に入る

今福 和人

夕膳に螢とまりて孫万歳

カナメ

田植する子供の頃のなつかしさ

KEIJI, S

ふと見ると田植えの姿感謝する

ナリ

早乙女やはちまきさして泥の中

保坂五十鈴

初夏の日は紫色の茄子の花

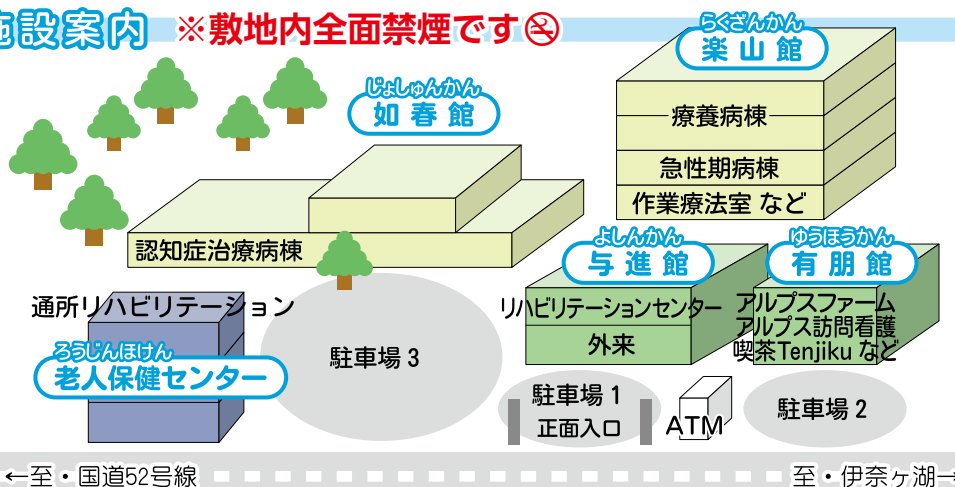
渡辺 あき

大事すぎるからそばに居てね

渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☒



←至・国道52号線

至・伊奈ヶ湖→

交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鰍沢営業所行き
(西野経由) 鰍沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第454号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

川崎洋介、大槻清志、川口 敦、對馬鈴香、河西崇子、雨宮尚登、山岸由佳、清水悠司、相川なつき、金丸彩

次回455号も
お楽しみに!